

不適切なNexus 9000 SSDパーティションの解決

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[リカバリ手順](#)

[SSD再パーティション](#)

はじめに

このドキュメントでは、NX-OSソフトウェアを実行しているNexus 9000シリーズスイッチで誤ったSSDパーティションが検出された場合に実行すべき修正措置について説明します。

前提条件

要件

ユーザはNX-OSの基本を十分に理解し、NX-OSに存在するNexus 9000ハードウェアのバージョンと設定を認識して、適切な対処方法を判断してください。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、NX-OSソフトウェアリリース10.5(1)以降のバージョンを実行しているNexus 9000シリーズスイッチに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

10.5(1)以降では、Nexus 9000でSSDパーティションサイズを自動的に検出して、予想される設定サイズに合わせるための拡張機能が追加されました。ブートアップ中にshow logging logまたはshow logging nvramでこのsyslogが確認された場合、NX-OS Nexus 9000が予期しないSSDパーティションサイズでブートされたことを示しています。

パーティションの問題は、さまざまな理由で発生する可能性があります。パーティションが小さいと、NX-OSイメージをアップグレード用のブートフラッシュに保存できない、show techsを正しく保存できない、重要なログ履歴の消失、空き容量の不足によるブートアップの失敗などの問題が発生する可能性があります。この文書では、SSDパーティションを正しいサイズに回復する方法を中心に説明します。

リカバリ手順

回復するには、このNexus 9000 SSDパーティション方式を使用することをお勧めします。SSDの再パーティショニングは、重要なファイルを保存する可能性が最も高いです。このリカバリプロセスは、誤ったパーティションが見つかった場合に1回だけ必要です。その後のリロードでは、この設定を維持する必要があります。SSDの再パーティション方法で誤ったSSDサイズを解決できない場合は、Cisco Technical Assistance Center(TAC)にお問い合わせください。

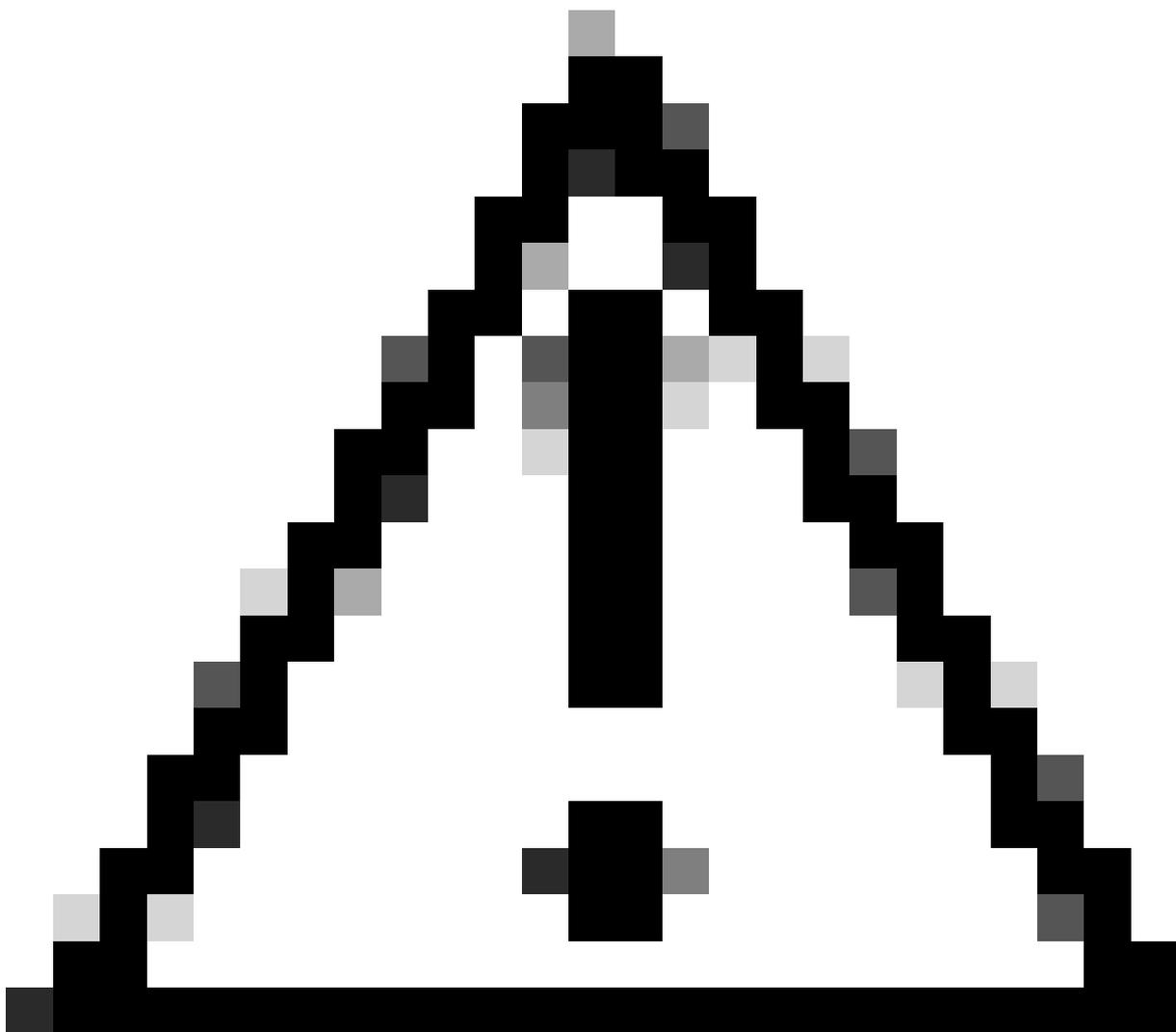
注：これを行うには、Nexus 9000をリロードする必要があります。

SSD再パーティション

system flash sda resizeコマンドを使用すると、指定したパーティション構成に基づいてSSDの再パーティションを実行できます。Standardは、Nexus 9000 Cloud ScaleスイッチのデフォルトのSSD設定です。Extendedは、Nexus 9800スイッチのデフォルトのSSD設定です。

```
switch# system flash sda resize ?  
<CR>  
extended Cfg=1GB, logflash=39GB  
standard Cfg=64MB, logflash=4|8GB
```

NX-OSシステムでは、このSSD再パーティションオプションを使用して、重要なファイルを最大限に保護します。重要なファイルには、NX-OSブートイメージ、running-config、ブートフラッシュの内容、およびログフラッシュの内容が含まれます。



注意：重要なファイルは、常に外部ソースにバックアップすることをお勧めします。

『[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide, Release 10.4\(x\)](#)』の「SSD Re-partitioning」セクションで詳細な説明を確認してください。

追加の検証/識別

これは、SSDパーティションが正しくないNexus 9000の例です。 system flash sda resize standardコマンドを実行すると、現在のスキームパーティションが標準のパーティション設定のターゲットスキームと一致していないことがわかります。

```
switch# system flash sda resize standard
```

```
!!!! WARNING !!!!
```

```
Attempts will be made to preserve drive contents during
the resize operation, but risk of data loss does exist.
Backing up of bootflash, logflash, and running configuration
is recommended prior to proceeding.
```

```
!!!! WARNING !!!!
```

```
current scheme is
sda 8:0 0 119.2G 0 disk
|-sda1 8:1 0 1.2G 0 part
|-sda2 8:2 0 9.6G 0 part /mnt/pllog
|-sda3 8:3 0 1.2G 0 part /mnt/pss
|-sda4 8:4 0 11.9G 0 part /bootflash
|-sda5 8:5 0 1.2G 0 part /mnt/cfg/0
|-sda6 8:6 0 1.2G 0 part /mnt/cfg/1
|-sda7 8:7 0 39.4G 0 part /logflash
|-sda8 8:8 0 11.9G 0 part
`sda9 8:9 0 23.9G 0 part
```

```
target scheme is
sda 8:0 0 64G|120GB|250GB 0 disk
|-sda1 8:1 0 512M 0 part
|-sda2 8:2 0 32M 0 part /mnt/pllog
|-sda3 8:3 0 128M 0 part /mnt/pss
|-sda4 8:4 0 110.5G 0 part /bootflash
|-sda5 8:5 0 64M 0 part /mnt/cfg/0
|-sda6 8:6 0 64M 0 part /mnt/cfg/1
|_sda7 8:7 0 8G 0 part /logflash
```

Nexus 9000 SSDのパーティション分割が修正されたことを確認するには、同じコマンドsystem flash sda resize standardを使用して、現在のスキームパーティションがターゲットスキームに一致していることを確認します。 また、コマンドの下部に、システムがすでに標準スキームであることを示すメッセージが表示されます。

```
switch# system flash sda resize standard
```

!!!! WARNING !!!!

Attempts will be made to preserve drive contents during the resize operation, but risk of data loss does exist. Backing up of bootflash, logflash, and running configuration is recommended prior to proceeding.

!!!! WARNING !!!!

```
current scheme is
sda 8:0 0 119.2G 0 disk
|-sda1 8:1 0 512M 0 part
|-sda2 8:2 0 32M 0 part /mnt/plog
|-sda3 8:3 0 128M 0 part /mnt/pss
|-sda4 8:4 0 110.5G 0 part /bootflash
|-sda5 8:5 0 64M 0 part /mnt/cfg/0
|-sda6 8:6 0 64M 0 part /mnt/cfg/1
`-sda7 8:7 0 8G 0 part /logflash
```

```
target scheme is
sda 8:0 0 64G|120GB|250GB 0 disk
|-sda1 8:1 0 512M 0 part
|-sda2 8:2 0 32M 0 part /mnt/plog
|-sda3 8:3 0 128M 0 part /mnt/pss
|-sda4 8:4 0 rem 0 part /bootflash
|-sda5 8:5 0 64M 0 part /mnt/cfg/0
|-sda6 8:6 0 64M 0 part /mnt/cfg/1
|_sda7 8:7 0 8G 0 part /logflash
```

System is already in Standard scheme Use force option to proceed

さらに、これらのコマンドを使用して、Nexus 9000のSSDパーティションが想定どおりに設定されていることを表示および確認できます。

```
switch# show system internal flash | i i dev/sda
/bootflash 113795280 38647924 75147356 34 /dev/sda4
/cmn/cfg/0 58090 872 53942 2 /dev/sda5
/cmn/cfg/1 58090 872 53942 2 /dev/sda6
/cmn/pss 121299 10546 104200 10 /dev/sda3
/mnt/cfg/0 58090 872 53942 2 /dev/sda5
/mnt/cfg/1 58090 872 53942 2 /dev/sda6
/mnt/plog 27252 16025 9589 63 /dev/sda2
/mnt/pss 121299 10546 104200 10 /dev/sda3
/logflash 8107484 1501688 6186368 20 /dev/sda7
```

注：bash-shellを使用するには、機能bash-shellをグローバルに有効にする必要があります。

```
switch# run bash
bash-4.4$ lsblk
NAME MAJ:MIN RM SIZE RO TYPE MOUNTPOINT
loop0 7:0 0 165.8M 0 loop /usr_ro
loop1 7:1 0 116.9M 0 loop /isan_lib_ro
loop2 7:2 0 48.2M 0 loop /isan_bin_ro
loop3 7:3 0 43.9M 0 loop /isan_bin_eth_ro
loop4 7:4 0 11.3M 0 loop /isan_lib_eth_ro
loop5 7:5 0 4.2M 0 loop /isan_lib_n9k_ro
loop6 7:6 0 4K 0 loop /isan_bin_n9k_ro
loop7 7:7 0 195.3M 0 loop /bootflash/.rpmstore/patching
loop8 7:8 0 57.6M 0 loop
loop9 7:9 0 144.4M 0 loop
loop10 7:10 0 221.2M 0 loop
sda 8:0 0 119.2G 0 disk
,îú,îÃsda1 8:1 0 512M 0 part
,îú,îÃsda2 8:2 0 32M 0 part /mnt/plog
,îú,îÃsda3 8:3 0 128M 0 part /mnt/pss
```

```
,iú,iÄsda4 8:4 0 110.5G 0 part /bootflash
,iú,iÄsda5 8:5 0 64M 0 part /mnt/cfg/0
,iú,iÄsda6 8:6 0 64M 0 part /mnt/cfg/1
,iî,iÄsda7 8:7 0 8G 0 part /logflash
mmcblk0 179:0 0 3.7G 0 disk
,iú,iÄmmcblk0p1 179:1 0 32M 0 part
,iú,iÄmmcblk0p2 179:2 0 32M 0 part
,iú,iÄmmcblk0p3 179:3 0 32M 0 part /mnt/pstore
,iî,iÄmmcblk0p4 179:4 0 3.6G 0 part
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。